

Leucosep™ リューコセップ

[リンパ球分離チューブ]

無料サンプル 進呈中

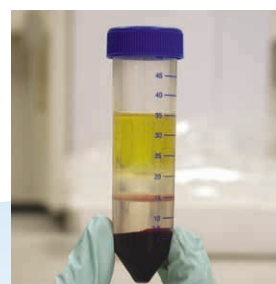
本チラシをお持ちの方に限り
無料サンプル進呈中

(FicolPaquePlus 充填済み品を除く)

ご希望の方は
下記グライナー・ジャパン取扱店
または弊社まで
お問い合わせ下さい



詳しいプロトコルは
裏面をご参照下さい



特 長

- ・ 比重液を用いた血中PBMCsの分離を補助するための専用チューブ
- ・ HDPE製のフィルターが血液と比重液の混合を防止
- ・ デカンテーションによるPBMCsの回収の際にはフィルターが赤血球の逆流を防止

製品番号	製品名	容量	滅菌	包装形態	入数
163290	Leucosep リンパ球分離チューブ 丸底 多孔質バリアー付 サンプル量 3-8ml	12ml	○	50×1 ラック (小箱)	50
163290	Leucosep リンパ球分離チューブ 丸底 多孔質バリアー付 サンプル量 3-8ml	12ml	○	50×10 ラック (大箱)	500
227290	Leucosep リンパ球分離チューブ コニカル底 多孔質バリアー付 サンプル量 15-30ml	50ml	○	25×1 ラック (小箱)	25
227290	Leucosep リンパ球分離チューブ コニカル底 多孔質バリアー付 サンプル量 15-30ml	50ml	○	25×12 ラック (大箱)	300
163288-013	Leucosep リンパ球分離チューブ 丸底 多孔質バリアー付 サンプル量 3-8ml FicolPaquePlus 充填済み	12ml	無菌	50×1 ラック (小箱)	50
163288-013	Leucosep リンパ球分離チューブ 丸底 多孔質バリアー付 サンプル量 3-8ml FicolPaquePlus 充填済み	12ml	無菌	50×10 ラック (大箱)	500
227288-013	Leucosep リンパ球分離チューブ コニカル底 多孔質バリアー付 サンプル量 15-30ml FicolPaquePlus 充填済み	50ml	無菌	25×1 ラック (小箱)	25
227288-013	Leucosep リンパ球分離チューブ コニカル底 多孔質バリアー付 サンプル量 15-30ml FicolPaquePlus 充填済み	50ml	無菌	25×12 ラック (大箱)	250

Leucosep™ リューコセップ 使用方法

使用前の準備

- 遮光した状態で比重液を室温まで温めます。
- Leucosepに比重液を入れます。
163xxx使用時 3ml / 227xxx使用時 15ml
- スクリューキャップを締め、1000 x g, 10 min (室温)で遠心します。
比重液が多孔質バリアの下に移動します。
- 比重液充填済み製品 (163288-013 および 227288-013) 使用時は、上記工程を省略できます。
その際は、使用前にチューブごと室温まで温めてください。
- これで抗凝固処理済みの血液または骨髄を充填する準備は完了です。サンプルを緩衝液で希釈することは必須ではありませんが、分離結果を改善する場合があります。希釈する場合には、PBSで行ってください。
比重液対サンプルの推奨比率 全血使用時／血液：PBS = 2:1、骨髄液使用時／骨髄液：PBS = 4:1

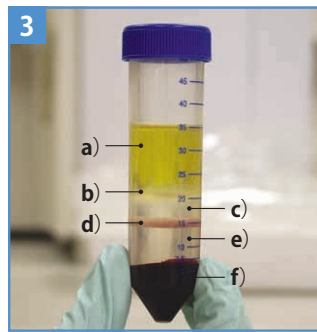
使用手順



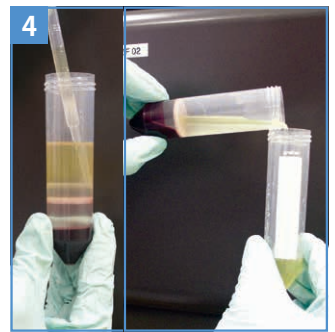
1 サンプルを穏やかに移す



2 遠心分離前



3 遠心分離後



4 パスツールピペットまたは
デカンテーションによって回収

- 1 本品にサンプルを穏やかに移します。(サンプルはヒト血液または骨髄。必要であれば緩衝液で希釈してください。)
サンプル量 3-8 ml (163xxx使用時) / 15-30 ml (227xxx使用時)
- 2 スウィングバケットローターを使用し、1000 x g, 10 min (室温) または 800 x g, 15 min (室温) で遠心します。
遠心機のブレーキは使用しないでください。
- 3 遠心後、層状の画分が現れます。
上から順に、a) 血漿 b) 中間層 - リンパ球及びPBMCsの濃縮画分 c) 分離剤 d) 多孔質バリア e) 分離剤 f) ペレット (赤血球および顆粒球)
血漿を中間層の上5-10mm程度残して取り除くと、濃縮された中間層の回収時に血小板のコンタミネーションを抑えることができます。
- 4 パスツールピペットを用いて濃縮画分 (リンパ球およびPBMCs) を回収します。またはバリア上の上清をデカンテーションすることで、別の遠心管に回収します。バリアは赤血球と顆粒球の再コンタミネーションを防ぎます。
- 5 回収した細胞を10mlのリン酸緩衝液 (PBS) で洗浄し、250 x g, 10 minで遠心します。
- 6 洗浄ステップを2回繰り返し、ペレットを5mlのPBSに再懸濁します。

■ 注意

生体由来検体および採血針、ランセットならびに採血器具セットは、各医療機関・研究機関の感染予防方針および手順に従って取り扱いってください。
血液が付着した針を誤って刺すなど、血液または他の生体由来検体への暴露や汚染が発生した場合は、検体がHBV, HCV (肝炎ウイルス), HIV (AIDSウイルス) に感染している可能性を考慮し、適切な医療処置を受けてください。

株式会社グライナー・ジャパン

〒101-0047 千代田区内神田1-14-10 PMO内神田2階
TEL 03-5843-9159 FAX 03-6275-0546

グライナー・ジャパン取扱店

■ お問い合わせおよび注意事項

【使用範囲】記載の商品は全て、「研究用器材・機器」です。人や動物の医療用としては使用しないよう、十分ご注意ください。

Document Number 202401008